

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ディグ・スマイル・高崎東教室		
○保護者評価実施期間	2024年7月20日		2024年8月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29 (回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2024年7月20日		2024年8月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年8月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	移転したことにより活動等のスペースが十分に確保できるようになりました。	勉強部屋や工作や運動プログラムを行う部屋、おやつを食べる部屋など、活動の場を分けて、落ち着いて様々な活動に取り組む事が出来るようにスペースを分けています。	お子様の安全を考え、段差や柱にはクッションテープを貼ったり、窓に飛沫防止のシートを貼るという取り組みを行っています。
2	事業所の活動プログラムが固定化されないように工夫しています。	5領域に特化し、楽しみながら出来るプログラムを心理士が中心となり考えています。そして、お子様達の意見を取り入れて、楽しめるように創意工夫をしています。	心理士がプログラム作成の会議を行い、支援員からも提案を促し、プログラムの内容をより良いものにする取り組みを欠かさず行っています。
3	一人ひとりのお子様の事を理解し、お子様と保護者様のニーズや課題が客観的に分析し、放課後等デイサービス計画を作成しています。	毎日、支援中でのお子様たちのご様子を職員間で情報共有をして話し合っています。モニタリング時だけでなく、送迎時にするフィードバックにより保護者様とのお話からも隠れたご要望がないか聞き取れるように心がけています。それにより、お子様たちの課題を把握してよりよい支援が出来るように計画書を作成しています。	各教室の児童発達支援管理責任者が集まり、会議をしてより良い計画書の作成についての話し合いもしています。また、その話あった内容は支援員にも伝えていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子様のご家族に対して家族支援プログラムやご家族様が参加できるような研修会などを行っていません。	・ご家族様に対してのペアレントトレーニングの機会が全くなかった事です。	・今後は家族支援プログラムやペアレントトレーニングなどの研修会を定期的に行っていくよう取り組んでいきたいと思えます。
2	定期的に、面接や子育てに関する助言等の支援があまり行われていません。	・モニタリングや担当者会議での面談は行っていますが、6カ月に1度という事で頻度が少ない事です、 ・専門的分野からの子育てに関する助言等の情報を提供する機会を設けられていないです。	・今後は家族支援を行っていきます。 心理士に同席してもらい専門的な助言をさせて頂く機会を設けていきます。
3	今回の事業所評価の集計をして、全体的に保護者様への支援をする機会があまりなく、語の事が事業所の課題であり改善が必要であると思えます。	・ご家族のお子様に対し抱えている不安に寄り添えていなかった事です。	・ご家族の子育てに関する不安の助けに少しでもなるように家族支援の機会を様々な形で提供していきます。(研修会や面談など)